

政策名	4環境にやさしい港		担当課	企画調整室 環境担当課長	連携担当課
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	16港湾の温室効果ガスを削減する		連絡先	052-654-7819	
事務事業名	01環境マネジメントシステム(EMS)の運用				

1 PLAN(目的・概要)

目的	本庁舎における環境負荷を継続的に低減し、環境目標を達成します。	事業期間	平成15年度～継続
概要	本庁舎内において環境目的・環境目標を設定し、職員の環境意識向上を図るとともに、環境に配慮した施策を推進するなど、EMSを運用します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	平成21年7月に平成21年度のEMS環境目的及び環境目標の設定、ならびに環境プログラムの策定を実施し、平成21年度のEMS運用を開始しました。目的・目標達成状況及びプログラム実施状況記録書を四半期ごとに各推進員から報告を受け、9月に内部環境監査を実施し、10月にISO14001審査(更新)を受けました。最終的に年度を通じた目的・目標達成状況及びプログラム実施状況記録書の報告を受け、集計の結果については平成22年5月に記者発表するとともに、本組合ホームページにおいて一般公開しました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
各種研修の対象職員受講率	単位	目標	100	100	100	100	100	EMSマニュアルで定めている各種研修の対象職員の受講率を算出します。
	%	実績	100	100	100			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円	1,348	1,291	912	959			
人員 正規職員	人	2.00	0.80	0.80	0.85			
	嘱託職員	人						
人件費相当額	千円	17,370	7,016	6,866	7,461			
事業費・人件費の合計	千円	18,718	8,307	7,778	8,420			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
改善指摘事件件数	単位	目標	0	0	0	0	0	ISO14001認証維持審査において、改善指摘を受けないよう、EMSの適切な運用を目指します。	
	件	実績	0	0	0				
	達成率(%)								
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ 無	・EMSの運用を通して、法律で策定が定められている「地球温暖化対策実行計画」を推進する取り組みを実施しています。						
	目的・水準の妥当性	有・ 無							
	利用者などの対象者ニーズ	有・ 無							
有効性	成果の達成度	有・ 無	・EMSの運用を通して、職員に環境への意識が高まると共に、電気・ガソリン等のエネルギー使用量の削減が図られています。						
	内容の妥当性	有・ 無							
効率性	実施主体の妥当性	有・ 無	・EMSで推進している「地球温暖化実行計画」は、本組合事務事業を対象とした計画なので、本組合が主体的に推進するものであり、また、EMSの運用は環境負荷低減とともに、電気使用量・ガソリン使用量の削減などの経済的メリットもあります。						
	受益者負担の適正性	有・ 無							
	経済性	有・ 無							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	○		本庁舎内のオフィス共通活動から、より広範な環境施策への移行を検討するとともに、必要事務の効率化によりコストを削減していくため。
		維持			
		縮小		維持	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		オフィス共通活動から、環境負荷低減を目的とする本組合の事務事業取組への移行を推進します。			